

# 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	行旅病人及び行旅死亡人取扱事業	所管	保健福祉部 生活福祉課
			TEL 2998-9201

事業の目的 (何の為に 行うか)	歩行に堪えない旅行中の病人の救護や旅行中の死亡者の埋火葬、また、ホームレス等の医療及び求職活動費の援護を目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	行旅病人・行旅死亡人・ホームレス	対象とした数	273	人
		実際に 利用した数	193	人

活動の内容 (何を したか)	行旅病人は、病院又は警察署等から連絡があり、実地調査を行うとともに所属国領事に対し、医療費の支払や本国の扶養義務者等の連絡などについて依頼する。 行旅死亡人は、警察から引き取り者のない死体として引渡しを受け、その状況、相貌、遺留物件その他本人の認識事項を記載した後死体の埋火葬をする。 ホームレスの外来医療費の援護は、医療機関からの連絡により実地調査を行い支払をする事が出来ない者に行う。 ホームレスの求職活動費の援護は、当人の窓口申請にて活動先までの交通費(限度額500円)を支給する。								
	活動実績	項目名	行旅死亡人	5 ----- 単位 件	項目名	ホームレス等の医療費	9 ----- 単位 件	項目名	ホームレス等の求職活動費

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,021	667	3,485	10.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	措置率	措置件数÷①+②+③	100 ----- 単位 %	100 ----- 単位 %	100.0 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 [ ]			
		終了 ⇒ 事業完了	終了	休止	
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]	終了		
	予算	現状どおり	増額	減額	終了

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課 課	部課コード	040200	画	2998-9201
事業コード	行旅病人及び行旅死亡人取扱事業					
040203	保健福祉部 生活福祉課					
開始年度		昭和 25 年度	→	終了年度	平成 年度	
グループ		保護担当				

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	行旅病人及び行旅死亡人取扱法、行旅病人及び行旅死亡人取扱法施行規則							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	5節 社会保障	中柱	5 低所得者世帯への支援	小柱	(1)生活安定のための援助・支援
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 3 位		実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
事業開始の背景									
明治32年から施行され、昭和25年には生活保護法が制定され旅行中の病人の救護については、生活保護法により救護を行うとし、旅行中の死亡人のみを取り扱ってきたが、平成4年に生活保護で準用できない旅行中の外国人の病人を救護することになった。また、ホームレス等の外来医療及び求職活動費も援護している。									

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)														
	歩行に堪えない旅行中の病人の救護や旅行中の死亡者の埋火葬、また、ホームレス等の医療及び求職活動費の援護を目的とする。														
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方											
	行旅病人・行旅死亡人・ホームレス			行旅病人・行旅死亡人・ホームレス											
	対象数	単位	平成 18 年度	373	人	平成 19 年度	273	人	利用数	単位	平成 18 年度	245	人	平成 19 年度	193
事業の具体的な内容及び実施方法															
行旅病人は、病院又は警察署等から連絡があり、実地調査を行うとともに所属国領事に対し、医療費の支払や本国の扶養義務者等の連絡などについて依頼する。															
行旅死亡人は、警察から引き取り者のない死体として引渡しを受け、その状況、相貌、遺留物件その他本人の認識事項を記載した後死体の埋火葬をする。															
ホームレスの外来医療費の援護は、医療機関からの連絡により実地調査を行い支払をする事が出来ない者に行う。															
ホームレスの求職活動費の援護は、当人の窓口申請にて活動先までの交通費(限度額500円)を支給する。															

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点					
なし						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,101	1,021	1,021	
	決算(見込み含む)		645	667		
	(嘱託職員)	(臨時職員)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.29 人	2,668	0.30 人	2,818
	公債費					
	事業費合計		3,313	3,485		
	財源内訳	一般財源	3,313	3,485	1,021	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			9.8	10.3		
利用数一単位あたり(単位:円)			13,522.4	18,058.0		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	行旅死亡人	警察からの連絡①	件	2	5		
		ホームレス等の医療費	病院からの連絡②	件	18	9		
		ホームレス等の求職活動費	申請件数③	件	225	179		
	成果分析	措置率	措置件数÷①+②+③	目標値	100	100		
実績				100	100			
達成率				100.0	100.0			
						実績値の拡大を図る1	2	
						実績値の縮小を図る2		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input checked="" type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	なし				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定				
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由					
旅行中の身元不明の死亡人及び旅行中病気で倒れ、入院治療等を要する病人については、今後も継続していく。また、ホームレスの医療費及び求職活動費も援護・継続していく必要がある。					
評価日		平成20年5月7日	記入者職氏名	生活福祉課長	木下 栄一

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由						
	評価日						
⑨個別計画における方向性	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
評価理由						<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
評価日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画					
	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					
	計画コード					
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					
	計画コード					
	基本目標					
主要課題						
施策の方向						